

教育プログラム・コースの概要

大学名等	神戸大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	がん薬物療法の臨床研究・開発を支援する人材育成インテンシブコース						
対象職種・分野	近畿圏でがん診療や、臨床試験・研究に携わっている薬剤師、CRC、その他医療関係者						
修業年限(期間)	1年						
養成すべき人材像	がん薬物療法に関わる臨床研究や治験を支援するCRCやデータマネージャー、あるいはがんに関わる臨床研究を立案できる研究者を養成する。						
修了要件・履修方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義(20時間以上となるよう以下から選択) がん薬物療法の臨床研究・開発を支援する人材育成インテンシブコース講義(必須)、次世代がんプロフェッショナル養成特論、腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)、臨床研究推進セミナー ・実習(いずれか1回以上) 薬剤部研究検討会への参加 臨床研究推進センター・プロトコールレビュー見学 治験スタートアップミーティング見学 						
履修科目等	<ul style="list-style-type: none"> ○がん薬物療法の臨床研究・開発を支援する人材育成インテンシブコース講義(必須)と演習 ○次世代がんプロフェッショナル養成特論 ○腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域) ○腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発) ○臨床研究推進セミナー 						
がんに関する専門資格との連携	がん専門薬剤師(日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、日本臨床腫瘍薬学会)、地域薬学ケア専門薬剤師(日本医療薬学会)の研修施設として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	臨床研究中核病院に令和3年4月に承認されており、臨床研究推進センターにはCRCやデータマネージャー、生物統計家の人材も豊富である。また、薬剤部にはがん専門薬剤師や薬物動態の専門家も多く所属していることから、質の高いがん薬物療法に関わる臨床試験・研究について教育できる体制が整っている。						
指導体制	次世代がんプロフェッショナル養成プログラム担当教職員を初め、神戸大学医学部附属病院薬剤部教職員や臨床研究推進センター所属の教職員等、院内外の関連職種が幅広く連携して指導にあたる。						
修了者の進路キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> ・がん薬物療法に関する臨床試験や研究を支援できる医療者 ・がんに関わる臨床研究を実践できる医療者 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	5	5	5	5	5	25
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	兵庫県に25のがん診療連携拠点病院があり、大阪府に19の国指定のがん関連の拠点病院がある。各がん拠点病院の1/4に最低1人ずつがん薬物治療に関する臨床試験・研究を支援できるCRCを配置することを目標にすると、総数11人となり今後5年間で養成する。また、過去の神戸大学の薬剤師レジデントと大学院志願者数及び研修施設としての受け入れ者数から毎年度約3人の志願者が見込まれるため、合計受入目標人数を25人と設定。						